



Press Release



JAPAN AIRLINES

日本たばこ産業株式会社

日本航空株式会社

2025年9月16日

宇宙飛行士の歯磨き課題から着想した“水いらずオーラルケア” JT×JAL がマウスウォッシュタブレット「Chupica」の 実証実験を実施

日本たばこ産業株式会社（以下、JT）と日本航空株式会社（以下、JAL）は、水を使用せずに口腔内を清潔に保つことができるマウスウォッシュタブレット「Chupica（チュピカ）」について、JAL が運航する実際の航空機内および海外渡航先での実証実験を実施したことをお知らせいたします。



JT と JAL は、宇宙生活上の課題から宇宙と地上双方の暮らしをより良くするビジネス共創プラットフォーム「Think Space Life（以下、TSL）（*1）」にそれぞれ参画しており、今回の取り組みは TSL を通じた両社として初の共同プロジェクトとなります。国際宇宙ステーション（ISS）をはじめとする宇宙生活における課題解決から着想を得た本実証実験では、JAL が運航する実際の機内や海外滞在時において「Chupica」の有用性を検証し、地上生活への応用の可能性を探りました。

JT と JAL は、「宇宙から地上へ」「極限から日常へ」をキーワードに、宇宙生活における課題を解決する商品・サービスを通じて、お客さま一人ひとりの心の豊かさに寄り添い暮らしを豊かにすることを目指してまいります。

（*1）宇宙における生活課題を起点に、地上の暮らしにも豊かさを還元することを目指す事業共創プラットフォームです。2020年7月に国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）によって創設され、2024年4月から NPO 法人ミラツクが運営を担っています。

TSL Web サイト：<https://aerospacebiz.jaxa.jp/solution/j-sparc/projects/think-space-life/>

■実証実験の概要

対 象 者： JAL の客室乗務員（約 100 名）

実験目的： 使用感を問うアンケート結果の収集・分析による「Chupica」の利便性や効果の検証
機上や海外滞在中におけるニーズの発掘と、製品の更なる改良・開発への活用

実験内容： 6 時間を超える長時間フライト乗務における休憩時間や渡航先滞在中に「Chupica」
を使用し、使用感に関するアンケートを実施

■「Chupica（チュピカ）」について



「Chupica（チュピカ）」は、タブレット型ハミガキ&マウスウォッシュで、2024 年 9 月から一般市場でのテストマーケティングを開始しています。この製品は、宇宙での使用を考慮して開発されており、特に水資源が限られた環境でも口内をリフレッシュできるように設計されています。

「Chupica」の前身である「mouthpace®（マウススペース®）」は、2020 年から TSL の取り組みとして、宇宙から四季を感じることができるタブレット型ハミガキ&マウスウォッシュとして開発され、これまで 4 回の ISS への搭載実績があり、2025 年 8 月 1 日からは JAXA の油井宇宙飛行士の長期滞在ミッションで ISS に搭載されています。（JAXA 公式搭載品一覧より）。

宇宙での実績を踏まえ、地上での利用を見据えて改良された「Chupica」は、持ち運びが容易で、日常生活や移動中、アウトドア活動、さらには防災備蓄品としても活用可能な新しいオーラルケアのかたちを提案しています。 商品ページ：<https://momentia.jp/ec/brands/chupica/>

■実証実験における JT と JAL の役割

JT は、インキュベーションパートナーとして 2020 年より TSL に参画し、極限環境での「心の豊かさ」について探究しながら、異業種・異分野との共創を通じて生活の質を高める製品・サービスの開発を進めています。この取り組みの一環として、開発したマウスウォッシュタブレット

「Chupica」を提供し、その使用性・快適性および効果の検証を担当します。水資源が限られており、さらに閉鎖環境である航空機内において、「Chupica」の実用性を評価しさらなる製品改良・商品開発に生かすことを目指しました。

JAL は、70 年以上にわたり航空機という地上と異なる閉鎖環境内の安全と快適さを追求してきました。この知見を宇宙生活の課題解決に活かし、その先の宇宙と地上双方の暮らしの改善に繋げることを目指し、2024 年に TSL に参画しました。その一環として、客室乗務員による市場調査サポート「JAL CA ビジネスリサーチ(*2)」を活用し、実際の機内環境での製品の使用性・快適性を検証するとともに、リアルな感覚や意見を収集しフィードバックしました。

(*2)JAL CA ビジネスリサーチ：<https://www.jal.co.jp/solution/lp/ca-business-research/>

■JAL の宇宙関連事業と JT グループの D-LAB の取り組み

JAL は、「航空と同じ世界を、宇宙に」というビジョンの下、「安全・安心な空の移動」を切り拓いてきた経験を宇宙輸送にも展開し、宇宙への定期的な人流・物流を生み出す持続可能な世界の創造に挑戦しています。これからも TSL を活用して宇宙輸送における快適性向上に取り組んでいきます。

JT グループのコーポレート R&D 組織である「D-LAB（ディーラボ）」は、まだ見ぬ「心の豊かさ」の研究・探索・創造活動を行っており、今回の「Chupica」機上実証も、「宇宙という極限環境における心の豊かさの探求、探索活動」の一環として展開しています。

以上